

平成 22 年 3 月 13 日 (土) 8:30~11:30

# Let's Enjoy Gomi Hiroi ~美しいまち‘京田辺’~

日本大学法学部福島ゼミナール

## 京田辺の現状

私たちが京田辺市内を見てみると、思った以上にゴミが落ちていることに気づいた。平成 15 年の発生苦情件数の 47.7%が不法投棄であり、不法投棄は大きなゴミと思われがちだが、環境課でのヒアリングにおいて、家庭ごみのような小さなゴミの不法投棄が近年増え続けていることがわかった。この解決策として私たちは「ゴミ拾い」を考えた。

私たちは、京田辺市民 100 人に「ゴミ拾い」についてのアンケートを実施した。その結果、ゴミ拾いは楽しくない、京田辺市で行われているゴミ拾い活動に参加したことがない、ゴミ拾い活動はつまらない、といったようなマイナスの意見が見受けられた。また、アンケートを行う中で、「友達と一緒に参加したら楽しそう」といったような意見も聞く事ができた。

そこで、私たちは「誰もが楽しめるゴミ拾い活動」を提案

その名も・・・

## 『Active Gomi Hiroi』

この政策は、楽しくゴミ拾いを行い、地域の人々のつながりが強い、“美しいまち京田辺”になることを目指すものである。

### 提言内容

#### 『Active Gomi Hiroi』

決められた時間内に決められたエリア内のゴミを拾い、最も得点の高いチームが優勝となる“スポーツ”のことをいう。

#### ～概要～

- ・ 1 チーム 5 ~ 10 名のチーム対抗戦
- ・ 決められた区域内のゴミを集めて時間内にポイントを競う
- ・ 道具は軍手とトングとゴミ袋
- ・ 各チームに 1 名審判をつける
- ・ ポイントはごみの種類で決まる

(ex. 燃やすゴミ: 100 グラム 10 ポイント 等)

#### ～その他～

- ・ Active Gomi Hiroi 終了後に、地域の特産物を使用した料理で親睦会
- ・ 賞品に京田辺の特産品の贈呈
- ・ 一休さんカードの利用 ( 拾ったポイントの 10 分の 1 をカードに還元、参加賞として、全員に 10 ポイント )
- ・ Active Gomi Hiroi 終了後に、アンケートの配布

平成 22 年 3 月 13 日 (土) 8 : 30 ~ 11 : 30

# Let's Enjoy Gomi Hiroi ~美しいまち '京田辺' ~

日本大学法学部福島ゼミナール

主体

## ~ 行政 ~

- ・ 広報 (自治会、学校、商店街などの内と、インターネット等で外に発信)
- ・ 開催場所の募集と決定
- ・ ゴミ袋のデザインの決定
- ・ 当日の運営
- ・ 参加者のアンケート作成・配布
- ・ 参加者が集めたゴミを収集する業者を手配
- ・ 参加

## ~ ボランティア ~

- ・ 当日の進行 (司会・受付・審判)
- ・ 参加

## ~ 商店街 ~

- ・ 軍手・トンクの提供を行政と連携して行う
- ・ 公募で決まったゴミ袋を作成
  - 特売日や目玉商品の掲載 = 商店街の P R 効果促進
- ・ 賞品提供
- ・ 参加
- ・ 懇親会の開催

効果

### 環境教育

様々な年代が楽しみながら参加できるため、色々な人が環境に対して触れることにより、多くの市民の環境に対する意識の向上が見込める

### 京田辺の再発見と愛着

住んでいるまちのゴミを拾うことで、新たな再発見となり、さらにまちを綺麗にすることで、愛着が生まれる。

### 地域コミュニティの形成・強化

色々な人が参加できるため、バリエーション豊富

( ex. 苗字対抗戦、町内会対抗戦、高齢者対抗戦 等 )

